

概要

統合開発環境 e² studio を V7.0.0 から V7.1.0 へリビジョンアップしました。新しい RZ/A デバイスグループ RZ/A2M がサポートされ、スマート・コンフィグレータおよび新機能 MMU ビューが利用できます。

製品の概要は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/e2studio>

1. アップデート対象バージョン

- e² studio V7.0.0

e² studio のバージョンは、e² studio のメニュー「ヘルプ」から、「e2 studio について」を選択すると開くダイアログに表示されます。

2. バージョンアップ内容

主なリビジョンアップ内容を以下に記します。詳細は、リリースノートをご参照ください。
(10月5日から公開予定)

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=r20ut4393ee>

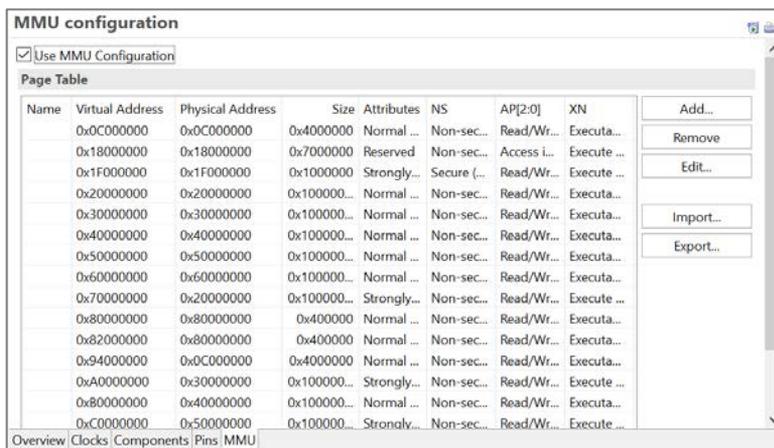
2.1 機能改善

- スマート・コンフィグレータ機能の拡充
- 以下のデバイスグループでスマート・コンフィグレータが利用可能になります。

RZ ファミリ : RZ/A2M グループ

- RZ/A2M グループデバイスの組み込みソフトで基本となるクロック、端子、MMU のドライバを専用の GUI で設定し、設定内容をソースプログラムに反映することができます。

MMU 設定パネル :



- サンプルプログラムに含まれる各周辺機能のドライバを、各機能に応じた GUI で設定し、設定内容をソースプログラムに反映することができます。

➤ MMU view 機能の追加

- RZ/A 向けプロジェクトのデバッグ時に、MMU の設定・動作状態を表示する MMU view を追加しました。
レジスタの設定内容のほか、論理/物理アドレスの対応状態なども画面上で容易に確認できます。

MMU のページテーブルは非常に複雑なので、MMU ビューがないと設定値や動作状態の確認は困難です。

例えばページテーブルをメモリダンプで確認しようとする時...
これでは何が設定されているか、どこを変更すべきかも分からない...

Address	0 - 3	4 - 7	8 - B	C - F
0000000020035000	0000000E	00000000	0020000E	00000000
0000000020035010	0040000E	00000000	0060000E	00000000
0000000020035020	0080000E	00000000	00A0000E	00000000
0000000020035030	00C0000E	00000000	00E0000E	00000000
0000000020035040	0100000E	00000000	0120000E	00000000
0000000020035050	0140000E	00000000	0160000E	00000000
0000000020035060	0180000E	00000000	01A0000E	00000000

MMU ビューで
設定内容がわかり易く！

The screenshot shows the MMU view tool interface. It includes a search bar for virtual addresses, a table of MMU entries with columns for entry number, type, virtual address, physical address, and memory type, and a panel on the right showing the current MMU register settings.

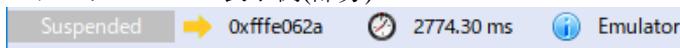
番号	エントリータイプ	仮想/先頭アドレス	物理アドレス	メモリータイプ
1_252	フォルト	0x000FB000	-	-
1_253	スモールページ	0x000FC000	0x0FC00000	ノーマル
1_254	フォルト	0x000FD000	-	-
1_255	スモールページ	0x000FE000	0x0FE00000	ノーマル
1_256	フォルト	0x000FF000	-	-
2	フォルト	0x00100000	-	-
3	セクション	0x00200000	0x00200000	ストロングリ
4	フォルト	0x00300000	-	-
5	セクション	0x00400000	0x00400000	ストロングリ

レジスタ名	値
CP15_c1_SCR	0x0
CP15_c1_SCTLR	0x8c52078
CP15_c2_TTBCCR	{0x0, {N = 0x0, PD0 = 0x0, P
CP15_c2_TTBRO	0x20034000
CP15_c2_TTBR1	0xdff9c008
CP15_c3_DACR	{0xb817401d, {D0 = 0x1, D1

➤ Run-break 時間計測機能の追加

- 統合開発環境 CS+ の Run-break 機能と同様に、e² studio でも直前に実行を開始した時点から break するまでの時間をステータスバー上に表示する機能を追加しました。イベントタイマの設定などを行わなくても簡単に実行時間を計測することが可能になります。

ステータスバーの表示例(部分) :



2.2 サポートデバイスの追加

以下のデバイスのサポートを追加しました。対象デバイスの型名はリリースノートをご参照ください。

- ▶ RZ/A2M グループに新規に対応しました。プロジェクトの作成・ビルドおよびデバッグ操作が可能です。既述の通りスマート・コンフィグレータの利用も可能です。
- ▶ SEGGER J-Link エミュレータのドライバ更新により新たに以下のデバイスがサポートされました。
 - RX651/65N のうち、内蔵グラフィックコントローラなし品に加えて新たに内蔵グラフィックコントローラあり品(ROM サイズ 1.5MB 以上)に対応

3. アップデート方法

以下の URL から e² studio のインストーラをダウンロードし、インストールを行ってください。

(V7.1.0 は 10 月 5 日から公開予定)

<https://www.renesas.com/e2studio#download>

注意 1: 製品のダウンロードページには、インストールに関する注意事項が記載されておりますので事前にご確認ください。

- 2: インストーラには、オンライン用インストーラ (Web インストーラ) とオフライン用インストーラがあります。インターネットに接続していない環境、または最新ではない特定のバージョンが必要な場合には、オフライン用インストーラをご使用ください。
- 3: バージョンの異なる e² studio で使用したワークスペースを、新しくインストールした e² studio で開かないでください。新たに作成したフォルダをワークスペースとして指定し、元のワークスペースからプロジェクトをインポートしてご利用ください。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2018.10.01	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社
 〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先
<https://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。